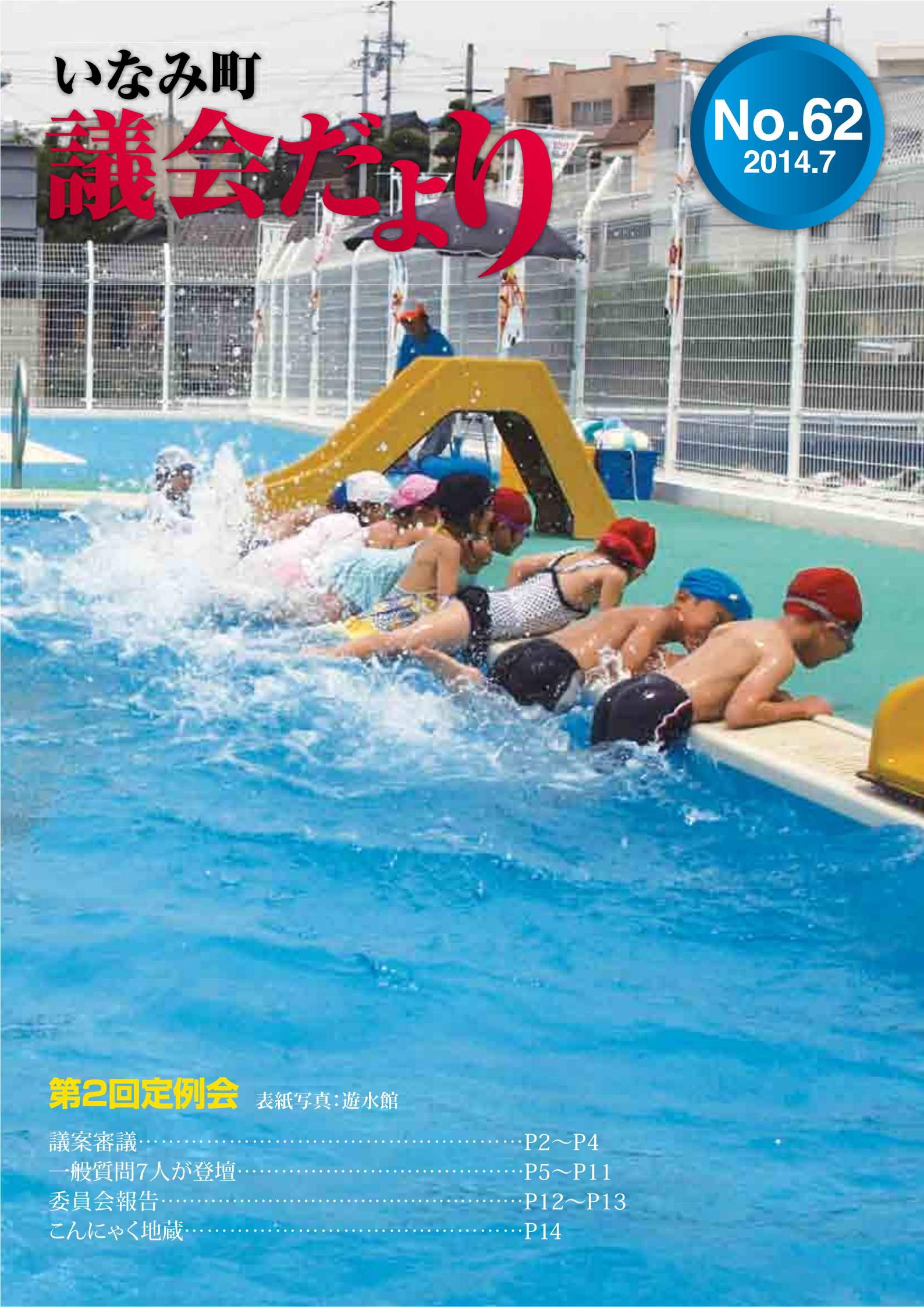


いなみ町

# 議会だより

No.62  
2014.7



## 第2回定例会 表紙写真:遊水館

議案審議	P2~P4
一般質問7人が登壇	P5~P11
委員会報告	P12~P13
こんにやく地蔵	P14

# 議案審議

## 平成26年第2回定例会（6月議会）

6月11日に開会し、19日に閉会しました。上程議案18件（専決処分8件、条例1件、予算2件、教育委員会委員の任命1件、人権擁護委員の推薦についての諮問3件、その他3件）を慎重に審議し、繰越明許費繰越計算書の報告2件を受けました。

### 議案審議 （専決処分）

町税について定めている条例（法律）の一部が変更されました。  
〔賛成10、反対1で可決しました〕

**質問**  
この議案は、「専決処分」といって議会を開く余裕がないため、議会にはからず町長が決定した、という内容になっていますが、平成26年4月から実施され

る内容と軽自動車の税率アップが来年4月1日以降に実施される内容が含まれています。

軽自動車の増税は平成27年4月1日以降の対応ですので、平成26年4月1日以降に実施する内容は分けて議会に提案すべきでは。

### 答弁（税務課長）

国会で「地方税法等の一部改正する法律」が通過し、少しでも早く町民にお示しすることが大切であるという考えからの対応です。

### ◎主な内容

●消費税が8%になり、各市町村の財政の格差の減少を図るため、法人町民税率を引き下げ、その分を国税として扱い、地方交

### 主な軽自動車税の引き上げ

- 50ccは2,000円に
- 50～90ccは2,000円に
- 90～125ccは2,400円に
- 125～250ccは3,600円に
- 250cc以上は6,000円に
- 三輪車は3,900円に
- 自家用乗用車は10,800円に
- 営業用乗用車は6,900円に
- 自家用貨物車は5,000円に
- 営業用貨物車は3,800円に

付税（国から各市町村に配分されるお金）に充てる。

●軽自動車税が引き上げられる。平成27年4月1日以降で新規登録車が値上げになるとともに、13年を経過した3輪以上の軽自動車は更に税金が上がります。

### 平成25年度 一般会計補正予算

### 質問

高速4車線化事業に伴い発生する残土処理

に関する協力金1,128万7,000円の詳細お願いします。

### 答弁（建設課長）

高速の4車線化事業発生土処理に関するNEXCO西日本からの協力金です。相手方の歳出、支出に合わせてこちらが受け入れたということです。

### 質問

鳥獣害対策費の報償費405万3,000円と前年に比べて大幅に減額されている理由は。

### 答弁（産業課長）

イノシシについては、わな、銃を合わせて62頭、鹿については180頭、猿22頭と、合計で753万7,000円の支出となっております。一定の捕獲の効果は出てきています。

**質問**

ふるさと応援寄附金 23万5,000円、何名からいただいたのかということと、その寄附金の、ふるさと応援寄附金という目的の説明をお願いします。

**答弁 (総務課長)**

3名が個人、1名が団体です。この方々からのこの部分に使ってほしいという縛り等はなく、町のためにというふうに判断をしています。

**答弁 (税務課長)**

平成24年度中の所得税で営業所得、農業所得が比較的良好で約2億2,800万円程度所得が伸びている関係です。

固定資産税については、評価変えの関連もあり予想していたほど下落せず、また、家屋については新築家屋などで増えています。

**質問**

義務教育施設整備基金積立金2,000万円はエアコン等の設備等に積み立てるということでしたが、4小4中ありますが、全部この2,000万円で補える予定になっているのでしょうか。

**答弁 (総務課長)**

今回は義務教育施設に計上しましたけれども、今後また教育委員会と協議をしまして、

許される範囲で積めるものであれば積んでいきます。ただ、目的がどの部分になるかというの今後協議は続けていきます。

**質問**

地域活性化対策事業費減額27万9,000円、結婚相談業務であります。多分申し込みがなかったからと思うのですが、今後は商工会、JAさん等と協議をした中で、支援ができないのでしょうか。

**答弁 (産業課長)**

団体等とも協議して、今年度についてはもつと力を入れて活用できるように体制で実績が上げられるよう、またほかの面でもいろんな出合いの場が設けられるよう努めていきたい。

**議案審議**

平成26年度  
一般会計補正予算

**質問**

諸収入の中の源泉所得税納付金、259万5千円の計上とありますが、予備費ではなく雑入での対応の説明をお聞きます。

**答弁 (会計管理者)**

雑入の対応をとることにより、予算計上の明確化を図った対応です。

**質問**

総務管理費の中の例規整備業務委託料129万6千円が計上されています。

内容とホームページ掲載の進捗をお聞きます。

**答弁 (総務課長)**

129万6千円は、子ども・子育て関連3法とか、地域主権改革推進支援の関係の一括法の関係を精査するものです。

ホームページ掲載は、今年度中を考えています。

**質問**

社会福祉費の中の高齢者見守りシステムデータセンター使用料10万円計上されています。

現代の利用状況と、今後の利用状況(電波)の改善をお聞きます。

**答弁 (住民福祉課長)**

現代、7名の方が利用されています。今後、電話回線の拡大の普及、それに合わせて基地局の増設を予定しています。

# 議案審議

## 質問

学校管理費の中の備品購入費にスクールバス購入費520万円が計上されています。

このバス購入費の財源内訳をお聞きます。

## 答弁 (教育課長)

国庫補助金250万円、事故保証金140万円、それに加えて平成25年度の事故保険金の収入をプラスして購入は十分可能です。

## 質問

いなみ防災広場用地購入費で3,200万円ですが、公営事業として成り立たないものを町が予算を組んで購入する理由は。

## 答弁 (総務課長)

町はNEXCOの残土を活用し防災広場を造っていきます。盛土工事はNEXCOにしていたいただき、用地につ

いては町が買収します。

## 質問

印南サービスイリア近くの土地に高速4車線化工事に伴い発生する残土で埋め立て、約10haの広大な「防災広場」を建設するため、当該計画にあたる土地の一部を3,200万円で購入する予算が計上されています。

この「防災広場」は工事で発生した残土を投入しますが、南海トラフや3年前の東日本大震災クラスの地震に耐えうる広場なのか。

## 答弁 (総務課長)

サービスイリア並みのレベルの高い転圧をかけて土地をつくっていくことで調整していきます。また、盛土の関係で農地等への被害の心配ですが、泥は沈砂池等

で調整し、川へは流さないように注意を払い実施していく。

## 教育委員会委員の任命を同意

教育委員会委員について左記の方を任命したいとの提案があり、議会は同意しました。  
・西ノ地255  
山下 秀幸氏

## 人権擁護委員の推薦者を承認

町長から3人の人権擁護委員の方々を推薦したいという提案があり議会は承認しました。  
・宮ノ前209  
宮本 浩子氏 (再任)  
・南谷1377の1  
中 善市氏 (新任)  
川又567の1  
大谷せい子氏 (新任)

## 6月議会に提案された他の議案全議案を可決しました

### 【専決処分議案】

・「非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正」の議案

・「印南町国民健康保険条例の一部改正」の議案

・「平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算」の議案

・「平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算」の議案

・「平成25年度介護保険事業特別会計補正予算」の議案

・「平成25年度宅地造成事業特別会計補正予算」の議案

### 【議案】

・「過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の制定について」の議案

・「工事請負契約」の議案

・「損害賠償の額を定めることについて」の議案 (2議案)





**質問①** 庁舎建設の概算事業費とその財源内訳の詳細をお聞きします。

**答弁** 企画政策課長

概算で18億円（うち10億円を起債、8億円を基金）程度に抑えたい。

内訳は庁舎建設の工事費約13億円と見込んでいます。残り5億円は委託料、公有財産購入費、移転に伴う備品購入費、保証・補填費用です。

**再質問** 平成23年度の前計画では全体事業費が11億6,790万円、うち8億4,470万円を緊急防災減災事業債で賄うことができ、実質町負担は5億4,061万円。うち公共施設等整備基金2億9,900万

円を活用し、新庁舎建設が可能だった訳ですが、今回は、まだ排水対策等は含まれていないので20億円はくだらない。

印南町新庁舎建設基本計画（平成26年2月作成）には、建設費が安く経済的な新庁舎を目指すかと書かれていますが、前計画の倍も費用があることには大きな問題があります。

住民に説明し、合意形成をとるのが住民目線ではないのでしょうか。

**答弁** 企画政策課長

基本設計と実施設計の精度を上げ、詳細な金額をもって説明責任といたしまして、お知らせしていきます。

**質問②** 庁舎の排水対策はどの様になっていま

すか。

地方、宇杉、下流域の方や、特に漁業関係者の方には、お話はされているのか、また具体的な対策法と費用内訳をお聞かせください。



**答弁** 企画政策課長

スケジュール的な問題や工事の施工についての諸課題につきましては、関係のある団体や住民へのアナウンスは当然必要かと思えます。

**再質問**

例えば、海までパイプで持つていくと問題は無いのですが、10億、

20億円かかるかわかりませんと技術提案された場合、実施されるのですか。町としての主体的な考えはどのように持たれていますか。

**答弁** 企画政策課長

全体の排水状況、排水対策やそれに伴う費用内訳については、今後設計の請負業者と検討していきます。

**質問③** 平成26年5月16日作成の役場庁舎建設事業では、敷地面積9

千㎡、3階建、延べ床面積2,500㎡と書かれています。現庁舎は2,400㎡です。26年後の2040年には印南町の人口は5,020人と4千人位減少予測がでいますが、どうしてこのような大きな建物が必要なのでしょう。

**答弁** 企画政策課長

人口5万人未満の市町村ということでの数字を適用しています。標準的な算定根拠ということ。

## 庁舎建設について

岡本 庄三 議員





# 一般質問

## 全国学力テストの成績公表は中止せよ

榎本 一平 議員

**質問** 昨年11月、文部

科学省は全国学力テストの公表を可能とする要綱を策定した。

今年も4月22日、全国学力テストが小学6年生と中学3年生を対象に行われ、印南町は学校別の成績を公表する事を発表した。

全国学力テストは平均点をこえることが一番の目的になり、子供たちの教育環境や学校現場に大きな弊害をもたらす。なぜ、成績公表するに至ったのか。

**答弁** 教育長

地域の方々に学習状況の成果と課題を知って頂き、学力がどんな状況でも、実態に応じたより一層の支援を頂ける、と考える。

**質問** 私は学校現場の

声を聴いたが、成績が公表される事に対し、各学校が小規模である事から大変心配している。学校現場の声に耳を傾け、今からでも遅くない、「公表しない」と表明せよ。

**答弁** 教育長

町は、成績がしんどければ手厚い支援対策をとる。公表したら住民の方々なら「よし、支援するぞ」との見方をしてくれると考える。

**質問** 学校現場で十分

協議されずに公表発表をしたが、なぜ、この様な対応をしたのか。

**答弁** 教育長

子ども・子育て支援に関する調査を行い、公表に対し、76・1%

が望んでおり、総合的に判断した。

**質問** 子ども・子育て

会議はそもそも、その様な事をする場でない。

校長会に一方的に「公表する」と伝え、現場では全く協議もされない状況だ。

**答弁** 教育長

内容等については、6月23日に意見交換する予定にしている。

**質問** どの様に公表しようとしているのか。

**答弁** 教育長

まだ決定していないが、数値のみ、数値により各学校順位をつけた公表は行わない。

## 「上道改良住宅建替事業」の今後の方向は

**質問** 平成25年から29

年にかけて「上道改良住宅建替事業」が進められていたが、6月議会冒頭に「分散建築計画は断念する」との行政報告があった。

**答弁** 建設課長

旧児童館裏への住宅建築は、9月議会に工事契約の議案を提出する必要があります。

この議会が終了後直ちに、入居者、地権者等関係者の方々に計画変更の説明を行い、早い時期に全体構想を完成させたいと考えている。

新たな建設事業全体の構想については、いつまでにはつきりさせるのか、見解を求める。





**質問** 本郷地区の避難道計画についてお聞きします。

昨年12月、今年4月に区長をはじめ区民の皆様より陳情された避難道は、どの程度進んでいるのかをお聞かせ下さい。

**答弁** 総務課長

色々と整備について協議をさせていただきました。その後、長の指示のもと、建設課長とともに現地を下見し、現場は民家が密集し道路は非常に狭い、しかし災害時は必ずこの道を利用することを確信してきました。

現在、建設課において予備設計業務に取りかかっているところであります。

**質問**

取り組んでくれ

ていると言うことで安心しましたが、各地区では色々着々と整備がなされ、安心を持てる環境になりつつあるなかで、本郷地区は、津波に一番危険な地区でありながら、まだ手付かずの状態です。この陳情された道は

本郷地区の皆さんの命を守る大変重要な道と成るはずですが、どうか一日でも早く整備し、安心して生活を送れる環境になるよう、取り組んでいただきたいと思いますが、いかがですか。

**答弁** 総務課長

避難道としては非常に重要な道であることは認識しておりますが、実現するか否かは、地元の協力が不可欠であり、今後区、また防災会等々と調整を重ねていきたいと

思っております。

**質問** 課長が言われるように地元の協力が本当に大切で、一番必要なことだと思います。

今後地権者のご理解と地元の協力が得られましたら、速やかに整備していただきたいと思いますが、いかがですか。

**答弁** 総務課長

町としましても、地元の協力が得られるようあらゆる話し合いをして行きたいと思っておりますので、議員各位の協力も切にお願いするところでございます。

今後の小・中学校について

**質問**

今後、6年後小

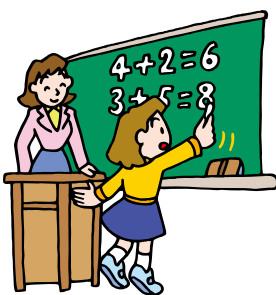
学校で92人、11年後中学校では34人生徒数が減少すると推測されますが、私は1人でも多くの友達と接して色々な問題にブツカリ、乗り越えて行く事により、社会へ出た時に必ず良い経験になると思うのですがいかがですか。

**答弁** 教育課長

現在もクラブ活動等にも希望に応じて行ける制度もございます。

4小・中の現在の体制では、良い面、悪い面は

それぞれあることは認識しています。学校づくりは地域の皆様のご意見、協力がなければ、一緒になる、あるいは統合ということは、進みません。今後統合も検討の課題になると考えます。



中島 洋 議員

## 本郷地区の避難道計画について



# 一般質問

## 防災対策について

野村 正明 議員

**質問** 防災教育や訓練等を通じ、常に住民の意識を持続させることは大切であると思いますが、今後の町や自主防災会の取り組みについてお聞きします。

**答弁** 総務課長

自助、共助、共働を原則として地域に合った災害への対応、危険個所の把握の方法、どのような災害が起こり得るのか等を想定した中で、防災教育や訓練等を実施していきたい。

また学校においてもその学校に合った対応をお願いしています。

**質問** 備蓄食料については、実物を見たことがない、食べ方も知らないという人も多いように思いますが、自主防災会

や、学校での訓練に食べる体験も取り入れてはどうでしょうか。

**答弁** 総務課長

今のところ計画はありませんが、今後防災訓練の中で機会があれば提供していきたい。

### 農業の振興について

**質問** 農業の振興は重要な課題であります。現在重点的に取り組んでいる施策についてお聞きします。

**答弁** 産業課長

町内の農家は主にパイプハウス等の施設による経営を行っており、町は県の補助制度に上乘せし、施設の充実と耕作していない優良な農地

や、施設の活用、特に温暖な海岸地域の農地を活用し、安定した経営の推進に努めています。

**質問** 当町の農業にとって施設栽培は必須のものとなっておりますが、最近の燃料用重油の価格高騰は経営を大きく圧迫しています。重油の高騰に対応するため導入されたエコフィンと薪ボイラーの効果についてお聞きします。

**答弁** 産業課長

エコフィンについては約6.7haのハウスに83基導入されています。JATマト部会の試験結果では約14%の燃料削減効果があり、また、薪ボイラーでは2戸のトマト農家が導入し、使用燃料が約

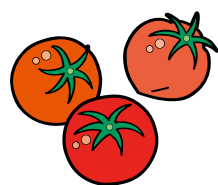
3分の1に抑えられたとの報告を受けています。

**質問** 生産費のうち燃料費については地域によつて倍近く差があるというところで、特に中山間地域においてはこの重油の削減効果は、大きいと思われれます。今後の対応をお聞きします。

町の事業対象は26年度より5か年ですが、2分の1補助は26年度のみとなっております。町補助金については全てにつけるのか、柱となるハウス等施設に支援するのが良いのか十分見極めて、対応を図っていき

**答弁** 産業課長

現在県の省エネ対象事業になっており県補助金に町補助金を上乘せして支援しています。







**質問** 高齢化率及び要介護者認定者の推移をお聞きします。

**答弁** 住民福祉課長

介護保険制度が施行された平成12年度末の高齢化率は26・3%で、このときの要介護認定者数は240名でしたが、平成24年度では高齢化率は31・4%、認定者数は574名、認定率は20・6%という状況です。

**質問** 介護保険サービス利用者数及び利用量の動向をお聞きします。

**答弁** 住民福祉課長

平成12年度と平成24年度を比較すると、受給者数においては約2・9倍、給付費においては3倍となり、12

年間で受給者、給付費とも約3倍となっています。

**質問** 第7次老人福祉計画及び第6期介護保険事業計画策定のスケジュールをお聞きします。

**答弁** 住民福祉課長

今後65歳以上の方を対象に、500名程度の無作為抽出によるアンケート調査を行います。これにより高齢者の現状を把握し、高齢者の生活上の課題と地域が抱える課題やリスクを分析し、次のサービス目標と事業目標量の設定を行うものです。

10月初旬に介護保険事業計画等策定委員会を設立し、具体的な計画案及び介護保険料の概算を年内中にまとめ

ていく予定です。

**再質** 「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」の概要をお聞きします。

国が推進すべき認知症対策の具体的な計画で、平成24年9月に策定されています。市町村が関わる推進項目としては、認知症ケアパスの作成努力義務及び介護保険事業計画への反映、この2つです。

**答弁** 住民福祉課長

社会的背景からみて今後、介護保険事業、それから高齢者福祉施策、両面による認知症の人を支える取り組みが必要になってきているものと考えています。

**事業用定期借地権設定契約における公正証書及び合意書についてを問う**

**質問** 事業用定期借地権とは、借地借家法に定められた貸し手を保護する法律であり契約の締結には公正証書によって契約を行い、契約期間終了後は原則借地権の消滅と土地が更地で返還される借地契約です。

**答弁** 企画政策課長

町としては今後、契約内容については契約相手と協議し、内容確認を行っていきます。

先の議会の私の一般質問において、公正証書以外

外の契約が交わされていたことが判明致しました。この別途契約によって将来、町（住民）が不利益を被ることはないのか。

## 老人福祉計画及び介護保険事業についてを問う

井上 孝夫 議員





# 一般質問

## 国道425号について

前田 憲男 議員

**質問①** 上洞までバイパスが開通し大変利便性が良くなっています。これから始まる川又地内の未改良区間の進捗状況は。

**答弁** 建設課長

進捗率は約60%。二本のトンネルのうち一本の設計がまだ完成していません。このトンネルの設計完成を待っていつきに進展すると考えられます。一日も早い完成には、地権者の協力が必要です。

**質問②** 425号と424号の接続について、この区間は、幅員が狭く、見通しも悪く、冬場には凍結もあり、大変走りづらい部分となっています。しかし山間部にとっては、重要な

道路であり、また災害時には、海岸沿いに出ることなく紀伊半島を移動できる道路へとつながります。

**答弁** 建設課長

この区間の整備についてどのように考えますか。

地域活性化のために完全な形でのアクセスが必要であると考えます。促進協議会の協力を頂きながら国や県に要望活動をしていきたいと考えています。

**質問③** 町長におたずねします。課長のほうから要望活動をしていくとの答弁を頂きました。この部分については、半分以上が田辺市の区域となるのですが、整備が進めば、御坊インターか

らでは龍神温泉への最短のアクセス道路ともなります。また産品所や地域の活性化にもつながると思います。

**答弁** 町長

田辺市と二緒に要望活動をしていつてはどうか。

台風12号の災害時に、田辺市からは、この道路によつて孤立することなく大変助けられたという感謝の声を頂きました。今後川又地内の進捗状況を見ながら田辺市と二緒に要望活動を進めていきたい。

**質問** AEDは、心肺停止から10分以内に使用しないと社会復帰率

### AEDについて



民間事業者の設置努力に期待したいところがあります。

は、ほぼ0パーセントとされています。しかし町内の中には、AEDがなくまた広域消防の到着にも20分以上かかる地域がありますが、この事についてはどのように考えますか。

**答弁** 住民福祉課長

AEDは、設置している施設利用者のものであります。管理ができる公共施設に配備をしています。町内くまなくカバーする事は、行政では困難であります。





## 人口減少対策について

**質問** 印南町では、賃貸住宅助成や新築住宅等助成事業など様々な施策を展開し、一定の効果をj得ていると考えられるものの、平成23年度から26年3月31日現在で321人が減少し、29年には7千人台に突入すると予想されます。

在住支援対策の中で大事なのは、住居、土地の確保であると考えます。町有地をどれだけ確保されているのか、また町有地を売却されるお考えはないのかお聞きします。

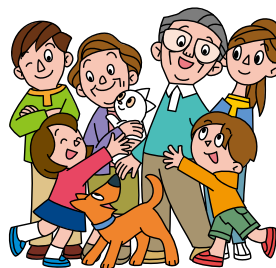
**答弁** 企画課長

宅地化が見込める町有地につきましては、畜産試験場跡地や旧小中学校など、一部登記関係が未完成なところがありますが、それが確定すれば、町有地の有効利用ということは、可能と思っております。

## 人口減少に歯止めを！

玉置 克彦 議員

## 不妊治療制度の更なる充実について



**質問** 母子保健事業の一つとして、子供を産み、育てたいという夫婦の願いを叶える方策として、不妊治療があります。この制度の更なる充実についてお聞きします。

産試験場跡地や旧小中学校など、一部登記関係が未完成なところがありますが、それが確定すれば、町有地の有効利用ということ、可能と思っております。

**答弁** 住民福祉課長

子どもを望む親や家族に寄り添った母子保健施策にということを大切にしていきたい。

母子保健事業としての事業拡大については、当然一般不妊治療のみならず、特定不妊治療や、高度不妊治療というようなことについて十分拡大検討していきたいと考えています。

保健福祉行政の充実という観点からは、延長も十分視野に入れた対策を講じてまいりたい。

## 津波対策について

**質問** 命の道、避難道整備を着々と進められているところですが、弱者や車椅子の

方が避難できる避難道は考えられないでしょうか。

**答弁** 総務課長

できる限り、要援護者と弱者に優しい避難道の整備を目指すのは当然であります。出来るだけ分かり易く、優しい避難道整備には努めてまいります。

**質問** 浜地区の避難タワーの見直しが必要であると考えますが、いまだに対応されず放置されて

います。対応策を考えているのかお聞きします。

**答弁** 総務課長

自主防災会では、できるだけ早く高い所へ避難する訓練を行っていますが、万が一逃げ遅れたときのために、このタワーを利用したいのとこのとであります。けつして放置しているわけではありません。

ただ現段階において、効果的な対応がないのが現状です。



# 委員会活動報告

## 総務産建常任委員会報告

◎村上 誠八 杉谷 孝祥 前田 憲男  
◎藤敷 利広 藤本 良昭 玉置 克彦  
◎委員長  
◎副委員長

●日時

平成26年4月23日

●場所 串本町

### 視察の内容

串本は、観光と漁業振興の町で、漁業集落特有の狭い土地をいかした集落づくりが特徴であり、通路は狭くブロック塀で囲われています。

災害時の避難想定時間は五分とされており、対策として、海抜10～12m、対応人数約1000名の避難タワーが4基設置されています。

更に民間施設の高い建物を避難ビルとする協定を進めています。

緊急避難対策として、海抜8m～15m位の緊急避難所への避難

路を約100ヶ所整備しています。

また、地震時に倒壊して、避難の障害となるブロック塀をフェンスに改善する補助事業も進めています。

防災拠点の整備については、町立病院、球場、多目的競技場、多目的目的ホール、芝生広場、ホテルを集約整備し、更に付近には防災センターやヘリポートも開設し、避難場所の確立に努めています。



古座地区では、防災支援基地として、町有地2万㎡を整備し、緊急避難テント設置用地、仮説トイレ用地を確保し、備蓄倉庫、耐震貯水槽も設置しています。

そのほかに、公共施設（庁舎、保育園、小学校、幼稚園）の高台移転も検討されています。

### (委員長所見)

観光客への避難方向や避難路の標識がなく、観光地としての避難体制がまだ整備されていないと感じましたが、その他の事を参考にして印南町としても早急に対策を進めるべきだと思いました。

避難所と緊急避難場所を同じ所と思っている人が多いのではないのでしょうか。避難所が優先的に整備されているのが現状ですが、まず自分の命を自分で守るのと、緊急避難場所まで自分で避難することが大事だと思います。



自助があり、そして共助があると思うので、第一に緊急避難場所まで自分たちで避難する訓練や対策が必要ではないでしょうか。

住民が安心して生活できる町づくりに努めたいと切に感じた次第です。

# 文教厚生常任委員会報告

◎井上 孝夫 岡本 庄三 野村 正明  
◎榎本 一平 堀口 晴生 中島 洋  
◎委員長  
◎副委員長

## 高齢者・障がい者のバリアフリー対策について

●日時

平成26年4月18日

●場所 インテックス  
大阪・バリアフリー展

### 委員会の内容

バリアフリーとは、対象者である障がい者を含む高齢者等の社会的弱者が、社会生活に参加する上で生活の支障となる物理的な障害や精神的な障壁を取り除くため必要な施策等を指す用語として現代の社会生活に広く浸透しています。

所管事務調査として、総合福祉機器展を視察し、先端技術の福祉機器及び福祉に関する

る最新情報の研修をおこないました。

尚、現地までの移動時間を研修にあて住民福祉課より平成26年度の住民福祉課の実施体制及び印南町における居宅介護事業等の概要についての研修をおこないました。

平成26年度の実施体制について、新たにスタートした事務分担では、住民サービスはもとより新規採用職員への教育も配慮した実施体制である旨の説明を受けました。

次に印南町における居宅介護事業等の概要については、要支援から低い要介護での屋内手すり設置・段

差解消・床材変更等の住宅改修が圧倒的に多く、簡単な改修を行い居宅で安全に介護療養生活を目的としたバリアフリー対策が増加の傾向にある旨の報告をうけました。

### 視察研修

今年で第20回を数える福祉機器展は、介護・福祉関連従事者や高齢者・障がい者とその家族が、介護・福祉の最新情報を学べる内容となっております。



### (委員長所見)

住民福祉課の実施体制については、今後の住民福祉サービスの効率的な組織運営に期待を寄せるところです。

次に、居宅介護事業等の概要については、住宅改修及び福祉用具等によるバリアフリー化を図っていくうえで、住宅改修等の住環境の専門的な知識をもって対応していく必要性を感じました。

次に、視察研修を終え昨今の福祉機器の最先端技術及び形状や素材の多種多様であることに改めて技術と進歩を感じました。

そして日進月歩する福祉機器を使用することにより障がい者や要介護者が、

日々の生活での行動範囲が広がり、また自立した生活を送ることが出来、家族などの介護する方の負担軽減も大いに図られることから、今後において福祉機器の開発に期待を寄せるとともに、あらためてノーマライゼーション社会の実現を感じるところです。



# コンニャク地蔵



「新しくできた本堂と今年度世話役の西原 守さん」

畑峰六地蔵は古井と標川の間の畑峰峠にあり、別名コンニャク地蔵としてよく知られています。

江戸時代初期の頃から祀られています。

祭日は、12月20日と7月24日と旧暦の12月20日の3回あります。祭日当日には、ご本尊にコンニャクをお供えし、それを持って帰って食べると御利益があるとされています。

また、おねしょ、ぜんそくにも効くとされていて訪れる人も多いそうです。

昨年8月の不審火によって本堂と六体のお地蔵さんに被害が及びました。ふだんからお地蔵さんのお世話をしている地元標川区の不出班（15世帯）では、再建委員会を立ち上げ、この7月24日に落慶法要と開眼供養をして、新しく本堂と五体のお地蔵さんを再建する事が出来ました。被害を受けた六体のお

地蔵さんのうち一番被害がすくなかった一体を後世にも語り継ぐためそのままお祀りするという事です。

また新たに作った五体の地蔵さんの内部に被害にあったお地蔵さんの一部を納めたということです。



## お詫びと訂正

61号に掲載させて頂きました「奥真妻活々（いきいき）倶楽部」紹介文中の国道42号は425号の誤りです。謹んでお詫び申し上げます、今後間違いのないよう努めます。

## あとがき

夏空がひとときまぶしく感じられる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

梅雨というのに雨が少なく、夏場の水不足が気がかりです。

広報委員会では、読みやすい「議会だより」に努力しています。遠慮なくご意見ご要望をお寄せくださいませう、よろしくお願いたします。

また、議会の傍聴にもお気軽にお越しください。

メールアドレス

[gikai@town.wakayama-inami.lg.jp](mailto:gikai@town.wakayama-inami.lg.jp)

議会広報特別委員会

委員長 岡本 庄三

副委員長 榎本 一平

委員 中島 利洋

藤越 誠八

村上 憲男

前田 憲男

